

第4回 REMAP-CAP RMC、SAC、RCC ミーティング

日時：2021年6月30日（水）18:00～19:00（zoomにて開催）

参加者：西田、藤谷、加藤、一原、國島、鎌田、神代、山下

AMEDより、森、平山、小川

オブザーバーとして東邦大学 青柳（舘田先生の代理）

（敬称略、順不同）

【議題】

1 齋藤先生、一原先生、藤谷先生より、資料に基づいた説明が行われた
国内および海外の進捗状況について説明された。

2 検討事項

- ・論文化
- ・国内関連学会等での発表
- ・DSWG への日本からの参画
- ・感染症危機管理行政との連携、白書作成。デスクレビューと質的研究の実施を検討。
- ・既存の国内研究、レジストリとの連携
- ・製薬会社など民間企業との連携模索。有望な薬剤を現場に届けるための REMAP-CAP を活用。
- ・REDCap 活用の可能性
について、齋藤先生、一原先生より説明が行われた。

《質疑、意見》

- ・広く3つの学会に endorse をいただいております、5つのドメインに参加している。各関係する学会の先生方にドメインの担当をお願いして広く国内に広めていく形をとりたい。
- ・（西田）REMAP-CAP に今後ドメインが追加された場合、集中治療学会では JICRG にもう一度申請を通す必要があるかもしれない。
- ・（藤谷）ドメイン特有の部分で先生方の専門性を発揮してもらえよう検討を続ける。

3 AMED の先生方からのご意見、ご指摘

AMED 森先生

REMAP-CAP は国際性、多分野、多施設との共同研究であり、とてもユニークで、今後の発展を期待している。外国からの相互の影響があるだろうが、日本独自のものも失わないようにしてもらいたい。プロジェクトを応援している。

AMED 平山先生

今回の会議の位置づけについて、班会議なのかキックオフ会議なのかが不明確であった。班研究であれば、評価の先生方などに具体的な説明があってもよかったのではないかと。実用化にむけた体制がしっかり組まれると良い。

(藤谷) 今回は AMED の先生方との初めての会合であり、全体の確認という意味で議題を作成した。現在は 5 つのドメインの責任者、班を決めていく段階。今後数か月で IRB を通過する施設が増えてくるので、それぞれの班で進捗状況をお話できると考える。次回はそれぞれのドメインごとに各学会の先生方と相談しながら、進捗を発表できる会議としたい。

AMED 小川先生

班会議については、AMED のために特別に会議を開催する必要はない。1~2 か月に一度、進捗があった場合には報告をお願いしたい。

今後の会議の方法について

AMED との会議については、議題等も含めパワーポイント等で資料を準備し、事前に共有をする。

次回会議 7月20日(火) 18:00~

以上